

フィジカルアセスメント

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 9時間 演習 13.5時間
期間	後期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

健康状態の把握に関する情報を収集するために必要な人体の構造と機能・観察技術(問診・視診・触診・打診・聴診)について、講義と演習を通して学ぶ。また、観察した結果から対象の健康状態と看護ケアを考える過程を学び、看護におけるフィジカルアセスメントの重要性について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

人体の構造と機能を理解した上で授業に臨み、講義の他、視聴覚教材やシミュレーター、学生間での観察を通して、問診と視診・触診・打診・聴診の技術を用いて、系統別に身体の健康状態を査定することができるようになる。事例では、対象に必要な観察は何かを考え、その結果から対象の状態をアセスメントし、必要な援助を考えることができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. フィジカルアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価について説明できる。
2. 観察から得られた情報に基づいて、対象者に起こっていること・起こりうることをアセスメントし、必要な援助を考え、記録することができる。
3. 基本的なフィジカルアセスメントの技術を、正確かつ安全・安楽に実施できる。
4. 演習で経験するフィジカルアセスメントの技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチ 4-A 講義室
 (矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
10/21	金	2	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 特任准教授	フィジカルアセスメントとは 身体計測 頭頸部と感覚器のアセスメント ・看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を述べる事ができる ・フィジカルアセスメントの基本技術(問診・視診・触診・打診・聴診)を説明できる ・頭頸部と感覚器のフィジカルアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる
10/26	水	1	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 特任准教授	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる
11/4	金	2	共通基盤看護学講座	小林 由美子 講師	循環器系のアセスメント ・循環器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる
11/4	金	3	共通基盤看護学講座	小林 由美子 講師	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる
11/11	金	3	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 特任准教授	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・脳神経系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる
11/11	金	4	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 特任准教授	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・筋骨格系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
10/21	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	頭頸部と感覚器のアセスメント ・頭頸部のフィジカルイグザミネーションを実施できる
10/31	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
10/31	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/7	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	循環器系のアセスメント ・循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/7	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/14	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・脳神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/14	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	脳・神経系/筋・骨格系のアセスメント ・筋骨格系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
11/18	金	1	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例に対するフィジカルアセスメントの実施 ・提示された事例について、対象に必要な観察は何かを述べるができる
11/18	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例に対するフィジカルアセスメントの実施 ・対象に必要な観察を実施できる

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	2019
参	根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント	清村紀子 工藤二郎編集	医学書院	2014

・成績評価方法

筆記試験 70 点、*演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする。

*演習への取り組み

演習時の実施状況（参加態度・事前準備）、学修課題の実施状況（提出期限厳守・記載内容・視聴覚教材の視聴状況）、提示された事例に対するフィジカルアセスメントの実施

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

・シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。

・看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。

・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

「提示された事例に対するフィジカルアセスメントの実践」の評価は、評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	フィジカルアセスメントモデル “Physiko”	6	呼吸音・心音の観察
演習	呼吸音聴診シミュレーター “ラングⅡ”	6	呼吸音の観察

